

## Seven-step Guide to Ethical Decision Making (倫理的意思決定のための7段階法)

1. State problem. (倫理的問題を明確に述べよ.)
2. Check facts. (事実関係を検討せよ.)
3. State specifications (limits and objectives). (制約条件などを特定せよ.)
4. Develop list of at least five options. (取りうる行動を少なくとも5案考案し, リストアップせよ.)
5. Test options. (行動案(の倫理的妥当性)を検討せよ.)
  - 危害テスト (harm test) : この行動は他のものよりもたらず危害が少ないか.
  - 世間体テスト (publicity test) : 私がこの行動を取ったことが新聞で報道されたらどうなるか.
  - 自己防衛可能性テスト (defensibility test) : 自分の意思決定を, 公聴会や公的委員会で弁明できるか.
  - 可逆性テスト (reversibility test) : 自分がその行為によって悪影響を受ける立場であったとしても, 自分はその決定を支持するか. (すでに述べたように, 「黄金律テスト」とも呼ばれる.)
  - 徳テスト (virtue test) : その行為を頻繁に行った場合, 自分はどうなるだろうか.
  - 「同僚による評価」テスト (colleague test) : その行為を解決策であるとして同僚に説明した場合, 同僚はどのように考えるか.
  - 「専門家集団による評価」テスト (professional test) : 自分が所属する専門家協会の理事会あるいは倫理担当部門は, その行為をどう考えるだろうか.
  - 「所属組織による評価」テスト (organization test) : 会社の倫理担当部署あるいは顧問弁護士は, その行為をどう考えるだろうか.
6. Make a choice based on steps 1-5. (ステップ1から5の検討結果を基に, 取るべき行為を決定せよ.)
7. Make final choice (after reviewing steps 1-6), act, and then ask. (1から6のステップを再検討し, その行為が本当に問題を解決するのか確認せよ.)

原出典 : Michael Davis, *Ethics and the University* (New York: Routledge, 1999), pp. 166-167.

ここでの掲載版は, 2008年のDavis自身による改訂版に基づき, さらに, 文言を改めている.